

○村高祭開幕 ～それぞれがそれぞれの場所で輝く～



台風接近で熱風が吹く中、第58回 2019 村高祭が地域、保護者をはじめ、多くの皆さまのご支援を受け開幕しました。

民謡集団「蘇武」の三宅太鼓と南中ソーランがオープニングステージを飾りました。

毛戸生徒会長の「全員が同じ目標に向かって役割を果たすことの素晴らしさを村高で学んだ。今日それぞれが輝く瞬間(とき)を作ってほしい」と、そして実行委員長の鉄屋君も

「この村高祭は、保護者をはじめ多くの方々に支えられて行えることを感謝してみんなで楽しみましょう」と挨拶してくれました。

開会式後のクラスタイム(演劇)1 日目の今日は、1-1(日常の隣にはいつも君がいた。)、2-2(Another Sky)、3-1(この嘘がばれないうちに)が行いました。



本校が、様々な取り組みの中で、人前でしっかりと発表できるのは、クラスのすべてが演劇に取り組んでいる伝統ある文化祭にも関連しているのだと思いました。

どのクラスもそれぞれの特徴を出していました。声のハリやストーリー性は、やはり学年が上がるごとに完成度の高さを感じました。舞台の上で堂々と演技する姿は、まさしく輝いていました。また、それを支える裏方の動きもよかったのではないかと思います。2日目も楽しみです。

